

学校評価／自己評価

当校では、年度目標や取り組み等の達成状況を評価し、その結果をもとに学校運営の改善を図るとともに、教育水準の向上を図ること等を目的として、各年度末に教職員による学校評価（自己評価）を行っています。

I 自己評価

(1) 評価内容と項目

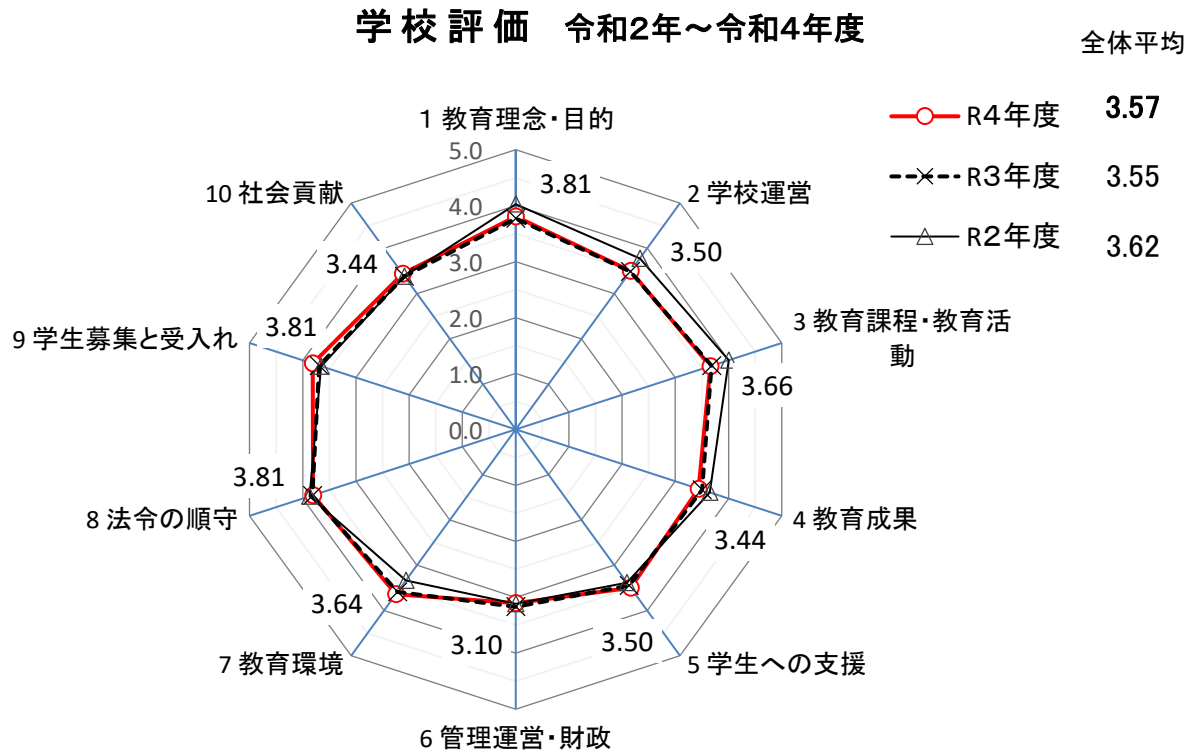
評価項目	細目内容	
1. 教育理念・目的 (3項目)	①年度目標の策定 ③学校独自の特徴	②教育理念・目的・育成人材像
2. 学校運営 (7項目)	①学校運営方針 ③運営組織や意思決定機能 ⑤業務の効率化 ⑦意思決定システム	②年間の事業計画 ④人事や賃金での処遇に関する制度 ⑥教育会議の機能
3. 教育課程・教育活動 (10項目)	①カリキュラムの編成 ③修了認定のための評価基準 ⑤インシデント・アクシデントの分析 ⑦学生による授業評価 ⑨資格取得の指導体制	②実習目標に沿った病棟の選択 ④実習における患者への倫理的配慮 ⑥実習指導者と教員の役割と協力 ⑧成績評価・単位認定基準実 ⑩職場内研修
4. 教育成果 (4項目)	①就職率の向上 ③退学率の低減	②資格修得率の向上 ④卒業生・在校生の活躍及び評価
5. 学生への支援 (5項目)	①学生の心身面での健康管理 ③課外活動に対する支援体制 ⑤学生の経済的側面に対する支援	②学生生活、進学、就職に関する相談 ④保護者との連携
6. 管理運営・財政 (4項目)	①予算計画、年間事業計画 ③中長期的な学校の財務基盤の安定	②災害など非常時の危機管理体制 ④財務の会計監査の実施
7. 教育環境 (3項目)	①校舎の耐震性・バリアフリーの整備 ③学生のためのスペース	②施設・設備・教材などの整備と活用
8. 法令の順守 (3項目)	①法令、設置基準等の遵守 ③自己点検・自己評価の実施と問題点の改善	②個人情報の保護
9. 学生募集と受入れ (4項目)	①学生募集の適正化 ③入学選考基準の公平化	②学校評価の公表 ④学納金の妥当性
10. 社会貢献 (4項目)	①地域社会への貢献 ③学生のボランティア活動	②地域との協力関係 ④社会貢献の実施

(2) 評価尺度（5段階ポイント）

5；良い， 4；やや良い， 3；普通， 2；やや不十分， 1；不十分

(3) 令和4年度 評価結果 (令和2年度、3年度との比較)

前述10項目47細目について評価を行い、結果を集計後、各項目の平均ポイント値として整理した



IV 今後の課題

令和4年度自己評価の全体平均評価ポイントは、前年よりもわずかに向上(+0.02ポイント)したが、「4 教育成果」と「6 管理運営・財政」の2項目が他に比べて大きなマイナス・ポイントとなった。

・教育成果については、一昨年・昨年に続くコロナ禍(第7波、8波)によって、臨地実習の中止や人数制限、出席停止者の発生を学内シミュレーション実習や補習・補講で補い、各学年とも所定の課程を修了することができた。また、看護師国家試験合格率は96.0%と昨年度96.7%に対して率としてはやや減少となったが、全国平均を上回るレベルを維持した。

一方、評価ポイント低下の要因としては、昨年度ゼロであった退学者が、今年度4名発生したこと、また、第三者(当校設立母体)による全学生対象のハラスメント調査の結果、指摘があったことが考えられる。日頃からの学生への声掛け、相談を密にするとともに、教職員・学生双方へのハラスメント研修を行い、風通しのよい学校をめざす。

・管理運営・財政の評価ポイント低下は、新入生の定員割れによる学生数の減少が続き、収支が一層悪化していることに対する危機感が現れた結果と捉えている。令和4年度の募集活動として、学校訪問を一部再開したこともあり、5年度新入生は32名(定員の8割)、3年ぶりの30名台となった。5年度には、7年ぶりのホームページ、パンフレットの更新をすすめるとともに、学校訪問件数を増やして6年度生の募集を行い、学生数を増やし収支改善を図っていく。

・その他、自己評価としては直接的には現れない項目として、臨地実習先病院・施設の確保という課題があげられる。令和5年4月から改定カリキュラムに沿ってすすめることになるが、実習施設については引き続き同様な懸念が生じている。既存施設との良好な関係を維持しつつ、新規病院・施設の開拓にも注力していく。